



# おめでとう 焼酎が長寿の秘けつ 澤田タマさん100歳に

澤田タマさんは、八月十五日、恵愛病院(久慈市)で元気に百歳の誕生日を迎えました。

お祝いに駆け付けた深渡宏村長は、長寿を祝う花束と鶴寿の証など手渡し「これからも元気で長生きしてください」と、お祝いの言葉を述べました。

澤田さんは明治三十六(一九〇三)年、堀内に生まれ、漁業に従事しながら四男五女を育てました。耳が少し遠くなり足にちよつと不自由を感じる程度で、身の回りのことは積極的に自分で行っています。

「ますます元気で長生きしてください」。深渡村長(前列右)のお祝いの言葉にみんな笑顔(澤田さんは中央)

「長生きの秘けつを教えてください」と聞いたら「たまに飲む焼酎と好き嫌いなく何でも食べる」と笑顔で話してくれました。村の百歳以上は、現在百四歳の堀内の畠中才エイさんと二人になりました。元気で長生きできることをお祈りします。

ありがとう

## 今年も真心の寄贈が！ エアーマットと図書券

八月十三日、村茂市出身で福島県会津若松市で新聞店を経営している澤口泰幸さん(六二)内写真から今年も村特別養護老人ホーム「うねとり荘」(野崎)に床ずれ予防用エアーマット二台と、ふれあい交流センター図書(室長・沼田英雄教育長)に図書券三万円分が寄贈されました。



護老人ホーム「うねとり荘」(野崎) 眞信施設長

野崎施設長は、「毎年寄贈いただき感謝しています。昨年に続きエアーマットをいた



「寝ごこちは最高」。うれしそ利用に佐々木望介(91歳)を見つめる白井中田キヨさん(91歳)

いただきました。ご厚意に感謝し、大切に使用させていただきます」と語り、沼田教育長は、「図書券の寄贈ありがとうございます。皆さんのために大切に活用させていただきます」と感謝の言葉を話してくれました。澤口さんは「お世話になった村に、感謝の意を表したい」と平成九年から毎年車いす一台、十四年からは利用者の希望でエアーマットを同荘に贈り続けています。またふれあい交流センター図書室に昨年、本年と図書券を贈ってくださいました。澤口さんの温かいご厚意に感謝申し上げます。

## 特別養護老人ホーム「うねとり荘」 太鼓の音も軽やかに夏祭り

八月八日、村特別養護老人ホーム「うねとり荘」(野崎眞信施設長、入所者五十五人)で夏祭りが行われました。入所者の家族や関係者など約三百五十人が訪れ、夏祭りを楽しみました。わたあめ、焼きそば、フルーツなどの販売コーナーや入所者の方々のお世話などに協力した中高生のボランティアも大活躍。久慈農林高校三年で大野村からお手伝いに訪れた柏木夏美さ

んは、「六月に高校の実習で、勉強させていただきました。その縁で今日は参加しました」と、笑みを浮かべながら「将来は福祉関係の仕事に就きたい」と語り、お年寄りの車いすをゆつくり押しながら盆歌の流れる踊りの輪の中へ加わっていました。普代小四年の砂合洋介君は、うねとり荘の夏祭りには毎年両親と弟四人で遊びに来ているといいながら「いつ来ても楽しい、来年も是非つれてきてもらおう」

と大はしやぎしていました。舞台では、鳥居地区の中高生らで組織する鶴鳥神楽、堀内児童館園児たち二十九人のかわいい手踊りを披露。夏祭りを盛り上げました。豪華景品で最後をしめくつたのは盆踊りです。「うねとり荘」入所者らは太鼓の音とともに、ボランティアの人たちに助けられながら輪の中に溶け込み、手拍子などとりながら、楽しいひとときを過ごしていました。



盆踊りの輪の中で心が弾む入所者たち